

令和5年度進行管理・評価シート

令和5年度進行管理・評価シート
宇治市歴史的風致維持向上計画(第2期)(令和5年3月27日認定)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 道路整備事業	2
2 道路の美装化	3
3 建物修景への支援	4
4 景観に配慮した取組み	5
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 重要文化的景観の保存	6
2 観光案内サイン等の整備	7
3 「お茶と宇治のまち歴史公園」を活用した情報発信	8
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 宇治茶園への支援	9
2 宇治茶品質向上への取組み	10
3 宇治茶普及啓発	11
4 宇治茶によるおもてなしの推進	12
5 歴史資料館 常設展及び企画展示の実施	13
6 源氏物語ミュージアム企画展示の実施及び講座等の開催	14
7 市営茶室対鳳庵の活用	15
8 宇治茶巡りガイドツアー	16
9 宇治川の鶺鴒・放ち鶺鴒の助成	17
10 宇治十帖スタンプラリーの開催	18
11 社寺等の歴史資源との連携	19
12 歴史文化への愛着の醸成	20
13 歴史・文化啓発	21
14 文化財見学会	22
15 文化財保存・修理・整備等への補助	23
16 未指定文化財等への調査	24
17 無形民俗文化財等への記録調査	25
18 文化財の保存・活用の検討	26
19 天ヶ瀬ダム周辺のかわまちづくり	27
20 空き町家の活用の検討	28
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 絵本「茶のゆのくに」を贈呈	29
2 茶で学ぶ おもてなしの心	30
3 緑香る新茶シーズン到来	31
4 神輿風輦まちをゆく 宇治上神社4年ぶり巡行	32
5 放ち鶺鴒見学ツアー始まる	33
6 ようやくフルスケールで活気呼んだ! 大幣神事	34
7 茶の技法 一日フル体験	35
8 JR宇治駅前に「宇文字園」跡	36
9 宇治市「碾茶」で産地賞	37
10 25年ぶり1月に来館1万人 早くも大河ドラマ効果	38

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------------	---

計画に記載している内容 計画の進捗管理や計画の変更・追加について、関係課から庁内意見を調整し、「宇治市歴史的風致維持向上協議会」に意見を伺うこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

学識経験者、文化財所有者、各種関係団体及び行政関係者により構成される宇治市歴史的風致維持向上協議会を開催し、計画の進行管理・評価について、意見を聞くことができた。

【定量的評価】
 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催回数 : 1回

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催状況

実施期間	種別	検討事項等
令和6年1月22日	第1回 歴史的風致維持向上協議会	【内容】 1. 報告 (1) 歴史的風致維持向上計画(第二期)の認定について 2. 議事 (1) 歴史的風致維持向上計画の令和4年度進捗評価について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 交通環境の改善により周遊しやすい道路を整備することで、人々多くの歴史的風致に触れる機会を創出することができ、また市民の安全が確保されることにより住環境の向上が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
令和5年度は、関係機関や地権者等との調整を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

市道菟道志津川線(門前工区)



現況 (令和6年3月)

市道宇治五ヶ庄線



現況 (令和6年3月)

	評価対象年度	令和5年度
--	--------	-------

項目		現在の状況
道路の美装化		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 道路を美装化し道路景観の改善を行うことにより、巡行する伝統的祭礼との調和が図られ、人々の周遊性を高めるとともに歴史的風致を感じられる環境を整える。また、良好な市街地を形成し、市民の住環境の改善にもつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は、京都府道宇治淀線無電柱化に向け、工事に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

府道宇治淀線



現況 (令和6年3月)

評価軸②-4 重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和5年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
景観に配慮した取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 景観阻害要因の減少とともに、歴史的な町並みと調和した賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしており、市の広報紙「市政だより」による周知も行ったが、令和5年度の申請は0件である。

【定量的評価】
 景観形成助成の件数 : 申請件数 0件
 (参考)令和2年度 : 申請件数 1件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

引き続き助成対象建築物へのチラシの各戸配布を実施するなど制度の周知に努める。

状況を示す写真や資料等

屋外広告物を改善し、まちなみを演出しませんか？

屋外広告物について、デザイン、色彩、材料等を周囲に調和するように整え、地域のまちなみをより良くする工事を対象に助成します。

〈対象工事〉屋外広告物の設置、除却等に係る経費及び設計費等で、著しく景観に寄与するもの(年度内に完了し、年度内に検査を受けられる場合に限る) 〔対象区域〕景観計画重点区域 〔交付額〕工費の2分の1以下(限度額50万円) 〔補助件数〕予算額の上限に達するまで(先着順) ①申請書を、5月15日(月)～12月8日(金)(延長の可能性有り)に、歴史まちづくり推進課窓口へ。

市政だよりによる記事

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
重要文化的景観の保存		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成25年度～令和14年度
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助
計画に記載している内容	重要構成要素の修理事業を実施し、積極的な活用を図ることにより、賑わいのある沿道景観の魅力向上や伝統的な茶業の継承に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は、重要文化的景観「宇治の文化的景観」の景観重要構成要素の建物修理を3件行った。

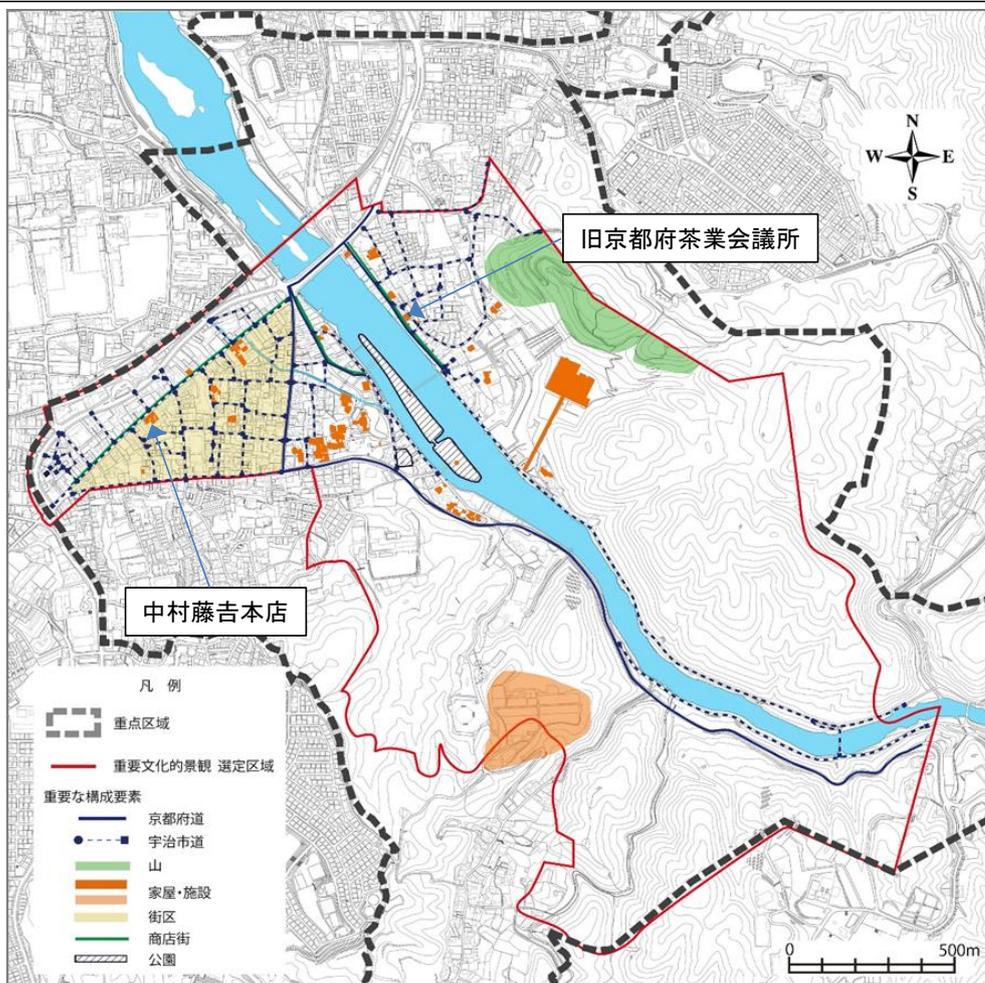
- ・旧京都府茶業会議所 床の間補修
- ・中村藤吉本店 角屋他改修
- ・中村藤吉本店 主屋東ケラバ修理

【定量的評価】

景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数: 3件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	選定地区拡大の取組を進める必要がある。修理事業は所有者の状況により取組に差がある。引き続き重要構成要素の修理を実施し、宇治の文化的景観の継承に努める。

状況を示す写真や資料等



宇治の文化的景観 修理箇所位置図

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
観光案内サイン等の整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和14年度

支援事業名 観光振興事業費補助金

計画に記載している内容 宇治市観光振興計画に基づき、国内外からの観光客が歴史・文化資源や歴史的町並み等を回遊しやすい環境を整備するため、わかりやすい観光サインや観光トイレの再整備を行う。

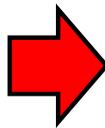
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宇治市観光案内サイン整備ガイドラインに基づき、令和5年度は三室戸周辺において、新設1基の対応を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 補助事業に基づく財政措置を行っており、国・府補助金の動向により整備の進捗に影響がある。

状況を示す写真や資料等



観光案内サインの新設(令和5年6月)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
「お茶と宇治のまち歴史公園」を活用した情報発信	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和14年度

支援事業名 観光振興事業費補助金

計画に記載している内容 「お茶地宇治のまち歴史公園」の施設を運営するとともに、「宇治のまち・人・歴史・文化をつなぐプラットフォーム」としてミュージアムでの学び舎、茶摘みや抹茶づくり等様々な体験プログラムやイベントの開催などソフト事業やSNS等を活用した情報発信によりお茶と宇治の歴史と魅力の周知を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

SNS等を活用し、国内、海外に向けて情報発信を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 「お茶と宇治のまち歴史公園」への誘客が課題であるが、交流館「茶づな」の2階に「光る君へ 宇治 大河ドラマ展」がオープンしたことを契機に、今後も引き続き、利用者の増加を目指す。

状況を示す写真や資料等

X: フォロワー 1,278

Instagram: フォロワー 2,231

TikTok: フォロワー 59

【公式】お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな

@uji_chazuna

2021年10月に京阪宇治駅前に誕生🍵 宇治観光のスタート地点/来てみないとわからない宇治の魅力を様々な視点で学ぶ体験する場所です👉 *DM・ポストへの返信は行っておりません。お問い合わせは公式HPよりお願いいたします。

〒611-0013 京都府宇治市英道丸山203-1

uji-chazuna.kyoto

2021年6月からTwitterを利用しています

0 フォロー中 1,278 フォロワー

【公園】お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな

2021年10月に京阪宇治駅前に誕生🍵 宇治観光のスタート地点/来てみないとわからないまちの魅力をさまざまな視点で学ぶ・体験する場... 続きを読む

uji-chazuna.kyoto

konio.520, hiroaki.k815と他1人がフォロー中

フォロー メッセージ

宇治茶特別... 茶づな de マ... Tiktok 体験スケジ... You1

【公式】お茶と宇治のまち歴史公...

@uji_chazuna

0 フォロー中 59 フォロワー 822 いいね

フォロー

2021年10月京阪宇治駅前に誕生🍵 宇治観光のスタート地点！宇治の魅力を体験する場所👉 月4～8回投稿中！！

*お問い合わせは公式HPよりお願いします

Instagram

令和6年3月28日時点

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
宇治茶園への支援	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 減少傾向にある宇治市域の茶園の維持・拡大を進めることや、伝統的栽培方法を推奨することで、生産者の経済的負担軽減と活動意欲を支える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高品質な宇治茶の生産を促進する事業として、宇治茶の伝統的製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行い、宇治独特の茶園景観の形成に寄与した。

【定量的評価】

伝統技術継承対策事業の実施件数 : 15件(222. 2a)
 「ほんず」による生産は非常に手間暇がかかり、生産省力化である寒冷紗による生産に移行する状況の中、実施件数は令和元年度15件(247. 2a)、令和2年17件(274. 3a)、令和3年14件(244. 6a)、令和4年度12件(190a)と推移している。本事業による実施面積は、年度ごとの申請内容により増減があるものの、実施件数は近年横ばいで推移しており、ほんず栽培の保存や技術継承に効果を発揮していると評価できる。
 手摘み茶推進対策の実施件数 : 30件
 手摘みを継続していくためにはお茶摘みさんの確保が必須であるが確保するのが厳しくなっており、平成27年度以降実施件数が30件程度で推移しており、手摘みを継承していきたい茶業者の支えとなっており、手摘み茶の推進の効果を発揮していると評価できる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



伝統技術継承対策事業により支援を行った。「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況

手摘み茶推進対策事業により実施された「お茶摘みさん」募集広告
 洛タイ新報(令和5年4月8日土曜日)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
宇治茶品質向上への取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 品質向上への意欲増進や栽培・生産技術の向上が図られる。また担い手育成や生産力及び販路の拡大に取り組む茶農家を支援し、宇治茶のブランド力を強化する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

6月8日に宇治市で開催した第56回宇治市茶品評会、8月2日から京都府で開催された第75回関西茶品評会(式典は2月15日)、8月22日から福岡県で開催された第77回全国茶品評会(式典は10月28日)への出品を支援した。茶品評会への出品を推奨することで、生産者の生産意欲を高め、宇治茶の伝統的製法の継承につなげることができた。

【定量的評価】

茶品評会入賞数/出品数 : 59点受賞/121点

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



全国お茶まつり福岡大会
褒賞授与式
(令和5年10月28日)



関西茶業振興大会
褒賞授与式
(令和6年2月15日)

品評会の実施状況

	第77回全国 茶品評会	第75回関西 茶品評会	第56回宇治市 茶品評会
出品数	41	49	31
優等数	/		
1等賞	5	2	4
2等賞	6	10	4
3等賞	9	10	7
農林水産大臣賞	受賞	受賞	/
産地賞	受賞	受賞	/

※相当含む

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

宇治茶普及啓発

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 市民や来訪者が宇治茶に親しみ、宇治茶を理解することは、お茶のまち宇治の歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民茶摘みのつどいは、事前申込制で参加者を200名に限定して開催した。
 宇治茶まつりについては、通常開催となった。
 市民素人茶香服大会は、4年ぶりの開催となった。

【定量的評価】

「市民茶摘みのつどい」の参加者数 : 5月14日(日曜日)開催 200名
 「宇治茶まつり」の参加者数 : 10月1日(日曜日)開催 8,000名
 「市民素人茶香服大会」の参加者数 : 10月1日(日曜日)4年ぶりの開催 79名

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



宇治茶まつり(名水汲み上げの儀)



宇治茶まつり(茶壺口切の儀)



市民茶摘みのつどい



市民素人茶香服大会

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

宇治茶によるおもてなしの推進

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき、宇治茶の振る舞いなどにより、おもてなしの心の醸成を促進するための取組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

各種イベントにて、市内産宇治茶の振る舞いを実施した。

- 7月 1日・2日 京都大作戦
- 8月19日 サンガホームタウンデー
- 9月 8日 文化庁移転記念イベント
- 11月12日 宇治茶・山城ごちそうフェスタ

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



京都大作戦



サンガホームタウンデー

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
----	--------	----------------

歴史資料館 常設展及び企画展示の実施

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 常設展や企画展では、市域の各地に残った古文書や民具、そして写真などを通して、宇治市の歴史、文化について紹介し、市民をはじめとする来訪者に宇治の歴史的風致に関する認知を高めてもらう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の歴史に関する多様なテーマについて、開館以来収集してきた資料を中心に、実物資料、写真パネル、映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい常設展及び企画展を実施した。令和5年度は、「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の一環として歴史まちづくり推進課と共催して、当市の平安時代の遺物を中心に紹介した企画展「発掘ものがたり宇治・2024」を開催したほか、宇治茶の歴史を紹介する「お茶の歴史資料」などの全5回の企画展を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

常設展や企画展を通して、市民が継続的に歴史資料に親しみ、その重要性を知る機会を提供し、宇治の歴史や文化について理解を深めることができるよう、今後も工夫を凝らした展示を実施

状況を示す写真や資料等



常設展



企画展「発掘ものがたり宇治・2024」

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
----	--------	----------------

源氏物語ミュージアム企画展示の実施及び講座等の開催

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 『源氏物語』『宇治十帖』の主な舞台となった宇治について、多くの市民をはじめとする来訪者に紹介すること
は、宇治市の歴史、文化の魅力をより深く認知してもらうことにつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

企画展示では、様々な視点から趣向を凝らし、源氏物語及び平安時代の文化を紹介した。令和5年度は、「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の一環として特別企画展「このわたりに薫る君やさぶらふ」を開催したほか、4回の企画展を開催した。
講座では、外部講師による連続講座や源氏物語セミナーのほか、館長が講師を務める入門講座や大人と子どもの能楽鑑賞会「能楽玉手箱」など、最新の研究成果を織り交ぜた講演や親しみやすい内容によって、より深く学べる場と古典に親しむ機会を提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

宇治市の歴史、文化に対するさらなる市民意識の向上

状況を示す写真や資料等



入門講座



特別企画展「このわたりに薫る君やさぶらふ」

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
市営茶室対鳳庵の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 茶文化を体験できる機会を提供することは、市民や来訪者に宇治茶の品質や、茶業全般への関心や理解を促すことにつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本格的数寄屋建築の市営茶室「対鳳庵」において、表千家流・裏千家流・山荘流の3流派による抹茶や、二條流、瑞芳菴流、方円流の3流派による煎茶の本格的なお点前の披露により、茶文化を体験できる機会を創出し、茶業への関心や理解を促す場を提供することができた。

なお、平成26年4月から従来の「抹茶の薄茶」、「煎茶」のみだったメニューに「濃茶と薄茶」、「玉露と煎茶」のセットメニュー及び「お点前体験」のメニューを追加することにより、利用者の増加や満足度を高める取り組みを行っている。

また、正門、待合、植栽等の改修工事を行い、令和2年7月1日にリニューアルオープンした。

【定量的評価】

令和5年度の市営茶室でお茶席の利用者数 : 14,568人

(参考)令和4年度 : 6,077人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたこともあり、外国人を含め観光客が増えている。今後も引き続き、近隣の方も含めた利用者の増加を目指す。

状況を示す写真や資料等



茶の湯の用意ができていることを知らせる“在釜”の札をかかげる市営茶室対鳳庵の露地門



感染拡大防止対策を実施したお点前の様子

対鳳庵

	入席者数	うち外国人
平成24年度	16,302人	4,889人
平成25年度	14,259人	4,259人
平成26年度	22,335人	6,059人
平成27年度	21,638人	7,198人
平成28年度	21,329人	8,442人
平成29年度	24,792人	11,803人
平成30年度	23,354人	11,858人
令和元年度	18,782人	10,930人
令和2年度	1,908人	58人
令和3年度	2,144人	63人
令和4年度	6,077人	1,316人
令和5年度	14,568人	9,218人

対鳳庵体験予約

	濃・薄セット	玉露	玉・煎セット	お点前体験
平成26年度	248人	2人	2人	345人
平成27年度	118人	20人	5人	885人
平成28年度	181人	9人	6人	913人
平成29年度	134人	9人	0人	1,026人
平成30年度	106人	22人	27人	954人
令和元年度	143人	23人	7人	1,191人
令和2年度	15人	13人	0人	52人
令和3年度	14人	13人	1人	59人
令和4年度	53人	58人	5人	273人
令和5年度	91人	137人	9人	1,608人

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
宇治茶巡りガイドツアー		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和6年度～令和14年度

支援事業名 観光振興事業費補助金

計画に記載している内容 観光客に宇治茶への興味を持ってもらい、より多くの宇治の魅力を感じてもらうために、宇治観光ボランティアガイドクラブの案内による宇治茶関連施設の無料ツアーを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【宇治茶巡りガイドツアー】

◎ツアー開催回数: 74回

◎ツアー参加者数: 232人

【宇治川合戦絵巻ガイドツアー】

◎ツアー開催回数: 44回

◎ツアー参加者数: 73人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	宇治茶を活かした観光振興の取組として、宇治茶に関する情報提供及び施設見学を行うことにより、宇治茶のブランド力の強化と宇治の魅力発信に努めることができた。また宇治川合戦絵巻ガイドツアーにおいても、宇治の歴史を発信することができた。今後も宇治の魅力を伝える取組として、より効果的な手法を検討する。

状況を示す写真や資料等


**宇治茶巡り
ガイドツアー**

 宇治といえば宇治茶！
 宇治茶のルーツを巡る旅に地元ガイドがご案内
 宇治茶を知るともっと宇治が楽しくなりますよ♪
 時間 午前10:00～ ※実施は土日のみとなります
 歩程 約3キロメートル 所要時間 約2時間～2時間30分
 コース JR宇治駅→宇治橋通り(茶農家、茶師屋敷、茶商建物)
 →宇治橋→茶園→世界遺産 宇治上神社→世界遺産 平等院
*コースは日によって少しの変動があります。詳しくはお問い合わせください。

 ツアー詳細

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
宇治川の鶺鴒・放ち鶺鴒の助成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 平安貴族の宇治川見物のひとつであった宇治川の鶺鴒は、鎌倉時代に禁止されたのち、大正の終わりに復活し、以降宇治川の夏の風物詩として定着している。多くの来訪者を楽しませる鶺鴒を継承する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は32日間の営業で1,210人の乗船があった。R5年度は50日間の営業で2,120人の乗船があった。

【定量的評価】

鶺鴒船乗船者数 2,120人

《うみうのウツィー 孵化・成長》

平成26年…1羽 平成27年…2羽 平成28年…2羽 平成29年…4羽 平成30年…0羽

令和元年…2羽 令和2年度…0羽 令和3年度…0羽 令和4年度…1羽 令和5年度…0羽

放ち鶺鴒について、令和3年度にモニターツアーを実施し、令和4年度に「放ち鶺鴒&宇治の魅力体験ツアー」として新たな観光コンテンツとして本格的に実施した。

○令和5年度 春69人 秋54人

春 6月3日(土)16名、6月4日(日)19名、6月11日(日)15名、6月17日(土)19名

秋 10月29日(日)10名、11月4日(土)14名、11月19日(日)13名、11月25日(土)0名(中止)、11月26日(日)17名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後のさらなる集客に向けて、春と秋に放ち鶺鴒を実施する。

状況を示す写真や資料等



■鶺鴒の様子



■放ち鶺鴒の様子

年度	営業日	期間日数	休業日数	営業日数	乗船人数	(内乗合人数)	1日平均(人)
平成26年度	6月15日 ~ 9月23日	99	23	76	6,970	4,520	91
平成27年度	6月14日 ~ 9月23日	102	40	62	7,060	3,670	114
平成28年度	7月1日 ~ 9月30日	92	13	79	6,920	3,570	88
平成29年度	7月1日 ~ 9月30日	92	17	75	6,390	3,470	86
平成30年度	7月1日 ~ 9月30日	92	43	49	4,325	1,965	89
令和元年度	7月1日 ~ 9月30日	92	53	39	2,635	1,670	68
令和2年度	中止						
令和3年度	7月1日 ~ 9月30日	92	73	19	420	420	22
令和4年度	7月1日 ~ 9月30日	92	60	32	1,210	820	37
令和5年度	7月1日 ~ 9月30日	92	42	50	2,120	1,558	42

■うみうのウツィー

平成26年6月29日、宇治川の鶺鴒で飼育されているウミウに初めてのヒナが誕生した。ウミウは警戒心が強いいため、飼育されているウミウの産卵及びふ化は日本で初めてのことであり、このヒナはウツィーと名付けられ、鶺鴒デビューを果たし活躍している。現在までに誕生したウツィーは12羽。



■人口ふ化で飼育されているウミウ

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
宇治十帖スタンプラリーの開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 近世から親しまれる宇治の遊覧の1つ『源氏物語』宇治十帖めぐりを定期的に設けることにより、多くの人に宇治川河畔の歴史的風致に触れる機会が創出される

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

毎年、晩秋の宇治の風情を楽しみながら『源氏物語』宇治十帖ゆかりの地などを巡るスタンプラリーを開催している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。
 また、令和3年度からは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、スマートフォンを利用するデジタル方式で実施し、開催期間を2ヶ月間とした。
 【定量的評価:参加者 7,973人(開催期間61日)】

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■デジタルスタンプラリーのチラシ(R5)



■デジタルスタンプ 一例



■宇治十帖スタンプラリー参加者

	開催日数(日)	参加者数(人)
平成25年度	5	16,598
平成26年度	5	17,176
平成27年度	5	17,744
平成28年度	5	17,503
平成29年度	5(内1日中止)	12,674
平成30年度	4	13,146
令和元年度	4	12,008
令和2年度	中止	—
令和3年度	61	5,586
令和4年度	61	5,480
令和5年度	61	7,973

評価軸④-11

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
----	--------	----------------

社寺等の歴史資源との連携

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

宇治川沿いの社寺や商店街とともに文化財を活用したイベントの実施により観光の滞在時間を延ばすことで市の歴史・文化遺産観光の振興を図ることができ、また多くの人々が宇治の歴史的風致に触れる機会を創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宇治オリジナルの夜の演出により、宇治の観光の振興と活性化を図ることを目的として進めてきた「～京都花灯路連携事業～京都・宇治灯り絵巻」の発展のため、“一年に一度、願い事をする”という古くから伝わる七夕の節句の意義や云われを見つめ直し、その伝統を引き継ぎつつ、伝統産業や、和装の振興などの観点も含めた京都ならではの現代版・七夕まつりとして京都各地で開催されている「京の七夕」との融合を図り「京の七夕inUji」構想を推進することにより、さらなる宇治の観光の振興と活性化を図る。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

次年度以降も継続し、イベント等に合わせた灯りの演出と、京都府と連携した「京の七夕」連携周遊事業にも引き続き取り組む。

状況を示す写真や資料等

○令和5年
8月4日(金)～8月11日(金・祝)8日間 19,000人 関連イベント21,098人
ライトアップ: 京都府立宇治公園、関西電力宇治発電所、天ヶ瀬ダム、興聖寺夜間特別拝観
願いがかなう道(短冊を吊るす笹ロードの設置)
萬福寺特別拝観
関西電力宇治発電所プレミアムツアー
天ヶ瀬ダム特別見学ツアー
光の演出提灯貸出(NAKEDディスタンス提灯)
「#宇治の七夕」投稿キャンペーン
商店街コラボレーション(灯りのUjiBar/商店街クーポン)
関連事業
・茶づなde夏祭り&ナイトマルシェ
・宇治橋通り商店街クラフトビール夜市



評価軸④-12
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
歴史文化への愛着の醸成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 宇治市の歴史文化に関する郷土教育や人材育成を進めることは、地域の伝統文化や未指定文化財等の継承につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○「宇治学」(総合的な学習の時間)での探究的・協働的学習をより効果的に実施するため、「宇治学」副読本・指導の手引きを作成配付
 ○「宇治学」副読本(小学校第6学年・中学校第1学年)を改訂にあわせてデジタル化。令和6年度より市内小中学校でタブレット端末で活用
 ○小学校3年生から副読本を活用して学習を進め、小学校第6学年では「ふるさと宇治の魅力発信」をテーマに市内観光名所や施設等を見学し、ポスター作成やプレゼンテーションなどを行っている。また、小学校から積み上げてきた「宇治学」の集大成として、中学第3学年では「ふるさと宇治」をより良くすることをテーマに、企画提案書づくりやプレゼンテーションなどを行い、これらの体験活動をとおして、ふるさとに対する関心を高め、本市への愛着心を醸成している。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



R06/02/2 「宇治学」(総合的な学習の時間)の一貫として取り組んできた「萬福寺学」で、萬福寺の魅力地域住民に発信 (イベント「萬福寺ええとこ祭り」)
 第6学年 「『ふるさと宇治』の魅力大発見」 宇治小学校



R06/03/31 改訂版副読本(小学校6年・中学校1年)のデジタル化

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
----	--------	----------------

歴史・文化啓発

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 発掘調査の成果について、報告書の発行や現地説明会の開催、フォーラムなどでの発表を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度 パンフレット「発掘宇治 '23」の印刷、配布を行った。
発掘調査成果をまとめた宇治市埋蔵文化財発掘調査報告書 第94集、第95集を刊行した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

引き続き、発掘調査成果の公開に努める。

状況を示す写真や資料等



パンフレット「発掘宇治 '23」



宇治市埋蔵文化財発掘調査報告書 第94集

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財見学会		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 小中学生を対象にした文化財の普及・啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながるため、次世代へと引き継ぐべき歴史的風致の維持向上に寄与するものである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・ 庵寺山古墳の一般公開
古墳施設（階段、手すり等）の老朽化により、見学者の安全が確保できないと判断し、令和5年度は見学会の開催を見送った。
- ・ 小中学生の文化財見学会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施しなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

早期に見学会を開催できるよう努める必要があるが、階段、手すり等の改修には相当の予算を要するため、部分的な改修を徐々に行っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



参考: 庵寺山古墳の一般公開
(令和3年11月)

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財保存・修理・整備等への補助		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の維持、保存を行うことで、将来にわたって文化財の価値が継承され、また祭礼等の拠り所が守られることで人々の活動も次世代へつなげていくことができる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内各所に所在する文化財調査を行い、本市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、伝えられてきた貴重な文化財の保護と活用を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理等に補助を行い、文化財保護を推進する。

重要文化財松殿山荘修礼講堂及び事務所ほか1棟の保存修理や、市指定文化財大幣神事など、21件の事業に対して補助を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財の価値が継承されるよう修理等に対し支援に努める。

状況を示す写真や資料等



大幣神事 実施状況

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
----	--------	----------------

未指定文化財等の調査

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 未指定文化財を調査することにより、文化財としての価値づけを行い、適切な方法で保護していくことや、宇治市にはまだ知られていない歴史的資源が豊富にあることの認知を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○一里山遺跡の発掘調査を行ったところ、広野廃寺の西限の延長と思われる掘立柱塼の柱穴と思われるものが見つかったほか、古代瓦片などが出土した。

○未指定文化財の補修等への補助 R5:0件(参考R4:1件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

未指定文化財把握のための調査が必要である。

状況を示す写真や資料等



一里山遺跡 4層上面完掘り状況

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
無形民俗文化財等の記録調査		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 宇治に古くから伝わる大幣神事等の無形民俗文化財の毎年の様子を詳細に調査し、その変遷をたどれるように記録する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大幣神事は、中宇治に集まる疫神をまちの外に追い出すものであり、神事の概略は神の憑代である「大幣」と呼ばれる大きな御幣を古式ゆかしい行列とともに三角形街区を巡行させて疫神を集め、宇治川に流して祓うものである。大幣と騎馬神人、七度半の使いの3つがそろうことが特徴である。

令和5年度は、コロナ禍前のスケールで実施された。(令和5年6月8日(木)実施)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財価値が損なわれないよう注意を払う必要がある。

状況を示す写真や資料等



項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の保存・活用の検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 宇治市文化財の具体的な保存・活用の方針を決定することによって、より適切な保存が図られ、また歴史的資源として活用されていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年10月に国の史跡指定を受けた宇治古墳群の一つである二子山古墳を保存し、古墳の立地する景観の保全を図るとともに、同じく同月に国の名勝指定を受けた二子山を含む宇治山の保存及び活用を図る。

令和5年度も令和4年度に引き続き、名勝宇治山の保存活用計画の策定に取り組んだ。

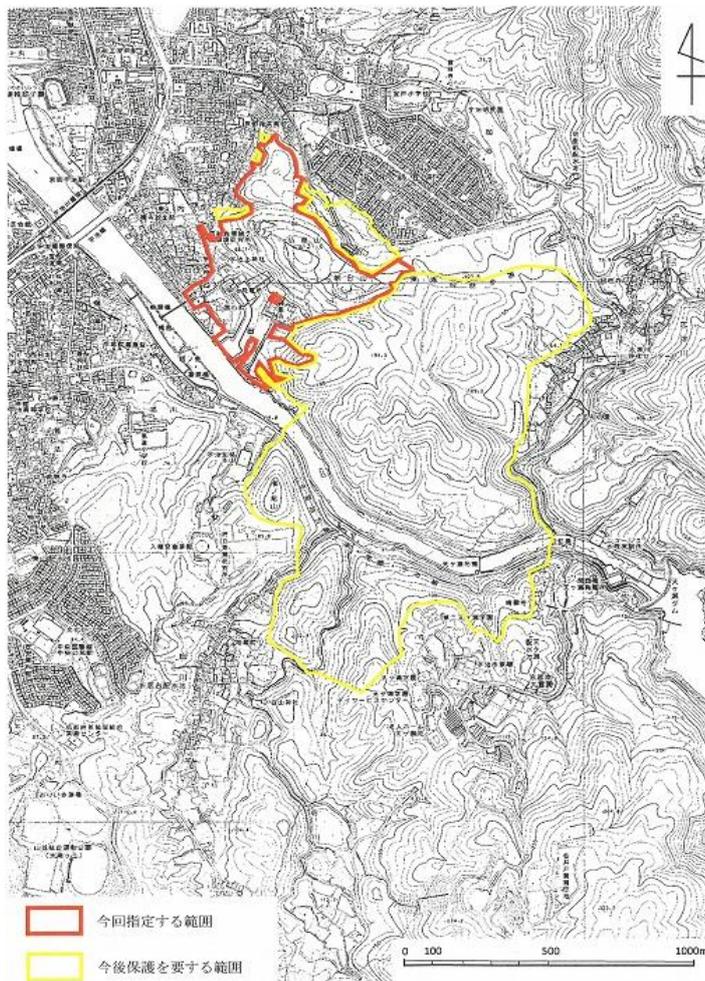
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財が適切な保存が図られ、歴史的資源として活用されるようにそれぞれの方針を定めるよう努める。

状況を示す写真や資料等



宇治山 名勝指定対象地域範囲図

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
天ヶ瀬ダム周辺のかわまちづくり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 古くから宇治川河畔の自然景観は、周辺住民のみならず、遠方からの来訪者の目も楽しませてきた。現代においても天ヶ瀬ダムに至る川沿いの道を散策する人が見られる。この優れた自然景観と市街地との周遊性を高めるため、天ヶ瀬ダムにおけるインフラツーリズムや水辺のにぎわいづくりを実施し、更なる人々の来訪を促す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

天ヶ瀬ダム周辺の観光資源を活かした広域的な周遊観光の活性化を図るため、取組を実施

○宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画

天ヶ瀬ダムを観光資源として有効に活用し、天ヶ瀬ダム周辺の周遊観光を推進するため、平成31年3月に国土交通省のかわまちづくり支援制度の登録を受けた。その後、「お茶と宇治のまち歴史公園」の開園、淀川沿川自治体による舟運活性化の機運向上を受け、更なるにぎわいづくりを推進するため計画を見直し、令和5年8月に計画の変更登録を受けた。

○ガーデンズ天ヶ瀬跡地整備検討

宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画に基づき、整備・利活用を図るダム周辺エリアを対象とし、当該エリアへのアクセス手段や周遊導線を検討する中で、ガーデンズ天ヶ瀬跡地に必要な機能を整理し、整備内容を検討した。

○宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会

宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画に基づき、天ヶ瀬ダム周辺の観光資源を活かした広域的な周遊観光の活性化を図るため、関係団体、民間企業、行政機関等で構成する協議会を設立し、協議会を開催(2回)した。

- ・令和6年2月7日 協議会設立の他、かわまちづくり支援制度など
- ・令和6年3月15日 ダムツアーにかかる要望書素案など

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

評価軸④-20
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
空き町家の活用の検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 伝統的木造家屋を保存・継承するため、民間事業者等とも連携しながら、空き町家の活用を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度、令和元年度、令和2年度に「中宇治地区に残る伝統的木造家屋の空き家調査」の再調査を行い、近年の町家の空き家及び滅失の状況を調べた。また、30年度末に策定した「宇治市空き家等対策計画」に基づき、令和2年に空き家の利活用施策として実施している「空き家の再生・利活用コンペ」の募集を行った。
無料相談や空き家等に関する出前講座の募集も呼び掛けている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成30年度末に策定した宇治市空き家等対策計画に基づき、今後、空き家の所有者等が適正に管理できるよう各種の支援施策を実施する。すでに実施している景観形成助成金制度では空き町家の利活用の促進へとつなげることを引き続き検討していく。
--	--

状況を示す写真や資料等

(This section is currently blank for photo and document uploads.)

評価対象年度 令和5年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
絵本「茶のゆのくに」を贈呈	令和5年4月8日	洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

幼い子供のころから、茶の湯のおもてなしの心や、思いやりの心に触れることで故郷への愛着にもつながっていくだろう。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

2023年(令和5年)4月8日(土曜日) 洛タイ新報 第20835号 (第三種郵便物認可) (4)

絵本「茶のゆのくに」を贈呈
宇治商議所 宇治市立保育所などに配架

宇治商議所(三井物産)が「茶の湯」をテーマにした絵本「茶のゆのくに」を、先月29日、絵本「茶のゆのくに」(監修・伊住宗徳、作・吉川嘉宏、絵・吉田ユウスケ、刊・淡交社)100冊を宇治市に贈呈した。同日、市役所で贈呈式が行われ、森下康弘(宇治商議所副会頭)と堀井長太郎(府茶業会議所会頭)が松村淳子(市長)に絵本を手渡した。絵本は、「茶の湯」のおもてなしを通して「自然への感謝の気持ち」や「他人を思いやま」も、一期一会のお茶

の時間を一緒に過ごす客として登場する。贈呈式後の歓談では吉川さんが、絵本のできる経緯や苦心したところなどを話した。

この日、贈呈された絵本は、市内の公立保育所、小・中学校の図書室、市立図書館などに配架される。

【写真】(右から)原作者の吉川さん、森下副会頭、松村市長、堀井会頭

評価対象年度

令和5年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
茶で学ぶ おもてなしの心	令和5年4月12日	洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宇治市職員が率先して宇治のお茶と、おもてなしの心を学ぶことにより、宇治茶を広く世界に発信することができる基礎が造られる。市民への接遇にも活かされることで、市民にもおもてなしの心を広げていくことができるに違いない。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

茶で学ぶ おもてなしの心
 宇治市 新人職員研修で淹れ方講座
 今年度宇治市に採用された職員を対象とし、市庁舎8階の大会議室で開かれた。一般事務職の職員ら16人が参加し、宇治茶の知識を深めた。世界に誇る宇治茶を広く世の中に発信し、おもてなしの心を養ってもらおうと毎年新人研修に組み込んでい

吉田さんが抹茶の点て方をレクチャーした

丸利吉田講師に、丸利吉田銘茶園の吉田昌弘さんが小倉町を迎え、茶の歴史や種類、宇治茶に欠かせない覆下栽培などの特徴などを学んだ。研修では、煎茶・玉露・抹茶の順で、美しい淹れ方を実践。抹茶が立ちにくくなるの泡が立ちにくくなるの「タイミンクが大切」とアドバイザース。テープルごとに職員たちが抹茶点てにチャレンジした。

吉田さんは「飲むときは一飲むときに首を立てても大丈夫。今回の抹茶は薄茶用だが、茶葉の量を増やせばペース

きれいに泡立った?職

ある」と補足。「お茶の検定がある」と知人から聞いたが「日本茶インストラクター協会が主催する検定では、利き茶の試験がある」と答えていた。

健康づくり推進課の大隅由紀さん(22)は「煎茶は温度によって味が違ふと知り、これからは好みにこだわって作ってみようと思った。抹茶を点てたのは小学生の時以来で、難しかった。宇治市の職員として、もっと上達が必要かも」と笑った。

まち美化推進課の正木聡史さん(29)は「てん茶を石臼でひいて抹茶にする工程が身近で見られた。相手のことを思い、心を込めてお茶を出すという姿勢に感動した。宇治市と宇治茶に誇りを持って働きたい」と話した。

評価対象年度

令和5年度

報道等タイトル

年月日

掲載紙等

神輿鳳輦まちをゆく 宇治上神社4年ぶり巡行

令和5年5月7日

洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症の影響により、長らく休止していた宇治上神社の神幸祭・還幸祭が執り行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等
洛タイ新報

(5) 2023年(令和5年)5月7日(日曜日)

神輿まちをゆく 鳳輦

宇治上神社4年ぶり巡行

世界遺産・宇治上神社(宇治市宇治山田、宮村敬旨司)の神幸祭が3日、還幸祭が5日に執り行われ、同神社を氏神にしている横島東地区を4年ぶりに神輿が巡行。触れ太鼓と威勢の良い掛け声が響いた。

家内安全や豊作を祈願する祭礼。

コロナ禍による3度の「居祭り」を経て、神幸祭では神社奉賛会(井内英樹会長)の氏子らが、仁徳天皇の御霊を乗せた神輿(みこし)を楯びやかに飾り付け、鳳輦が描かれた鳳輦(ほうれん)には、菟道稚郎子(うじらのわきいら)の御霊を移して、お旅所のある横島集会所(横島町北町)まで巡行した。

祭礼を盛り上げるの子どもたちや校区の北宇治中学校の生徒たちも含め、白いハットと、白の約140人が参加。

地区内を練り歩いたあと、宇治川右岸上流の宇治上神社に向

けて出発。行楽客でにぎわう宇治橋の上を颯爽と進んだ。

そして午後4時前、無事に神社境内に到着。「写真」の3年間は長かったが、氏子の皆さろす中、神事を挙行。

宮村敬司の導きで、継代や奉賛会の役員らが順次、玉串を奉奠し、本殿へと厳かに御霊が戻された。

評価対象年度 令和5年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
放ち鶺鴒見学ツアー始まる	令和5年6月4日	洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

南部コミセンで開かれた城陽市観光協会の定時総会

放ち鶺鴒見学ツアー始まる

宇治市 観光協会 講演で人工ふ化映像も

「宇治川の鶺鴒」のうち、鶺鴒と鶺鴒をつなぐ追い綱を使わない「放ち鶺鴒」を見ることができ、「鶺鴒講演」と「放ち鶺鴒」見学ツアーが3日、京阪宇治駅近くのお茶と宇治のまち歴史公園で始まった。(公社)宇治市観光協会が主催、昨秋に続く2シーズン目の取り組み。

この日、見学に先立ち、沢木方理子、鶺鴒匠が交流館「茶づな」で講演。放ち鶺鴒に登場するウミウ(愛称「うみうのウッティ」)のふ化を捉えた映像などを紹介した。ウッティは、国内で初めて人工ふ化によって生まれたウミウで、鶺鴒を親だと思いついてのことから、放ち鶺鴒の実現に至った経緯がある。

講演の後、参加者は史跡太閤堤跡の池に移動し、実演を見学。沢木さん、江崎洋子さん、鈴木奈緒美さんの3鶺鴒匠が、放ち鶺鴒を披露した。

登場したウッティは9羽。カゴから出されると、鶺鴒の手から羽ばたいて池へ着水。鶺鴒匠らが餌のアユを放すと、水面下に潜って捕獲し喉元に蓄えた。呼ばれて戻ってきたウッティの喉から鶺鴒匠がアユを何匹も吐かせると、客席から「わあ」と歓声が上がった。

同ツアーは、11日(日)、17日(土)の予約がまだ可能。沢木鶺鴒匠は「放ち鶺鴒は、まだ経験が浅い。回を重ねるごとに良くなっていくと思う。皆さんに楽しんでいただけたようにしたい」と話した。

ツアーの詳細確認や申し込みは、同協会ホームページから行うことができる。申し込みは催行日の6日前が締切となる。

【写真】鶺鴒匠の手から離れて着水するウッティ

《ろびーは3面》



評価対象年度

令和5年度

報道等タイトル

年月日

掲載紙等

ようやくフルスケールで 活気呼んだ！大幣神事

令和5年6月9日

洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルスの影響で、縮小して行われていた大幣神事であるが、今年はコロナ禍前の形式で執り行われ、勇壮な神事に市民も盛大な拍手を送っていた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

2024年(令和5年)6月9日(登壇日) 10月 利 報 第20884号 (第三種郵便物認可) (4)

ようやくフルスケールで 活気呼んだ！大幣神事

神馬 勇壮に

県あがた神社田 中宇治地域で行われ、宇治選挙区の大幣(た)を告げ、市は2012年、第1号無形民俗文化財に指定。1953年、猛威を振るった大幣神事。見守る市民も活況を呈した。

宇治橋へ向かい突き進んだフィナーレは幣差(へいさし)たちが全速力で大幣を引き摺った

神馬の雄姿に拍手で応えた市民たち

増水した宇治川までえいや！大幣を投げ入れた

蹄(ひづめ)の音を響かせる神馬と騎馬神人

大幣や騎馬神人ら、重(ひたれ)な衣装(ごも)に供(く)奉(ほう)して、約(やく)鐘(かね)を身(み)に掛(か)けて、約(やく)鐘(かね)を手に(て)に、歩(あ)いた。列(れい)は、(か)みしも、直(な)した。(開(ひら)き)進(すす)む)面(めん)

猿(さる)彦(ひこ)の面(めん)をつけた櫓(うし)の台(たい)を先(ま)頭に(あたま)に、界(かい)限(げん)を(こ)え、進(すす)んだ一(いっ)行(ぎょう)

祭(まつり)具(ぐ)を掲(か)げ、練(ね)り歩(あ)いた児(こ)童(どう)たち

杖(じやくぼこ)を、祭(まつり)具(ぐ)を掲(か)げ、練(ね)り歩(あ)いた児(こ)童(どう)たち

襦(じゆ)袢(たん)子(こ)や、直(な)した。(か)みしも、直(な)した。(開(ひら)き)進(すす)む)面(めん)

評価対象年度 令和5年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
茶の技法 一日フル体験	令和5年7月28日	洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

子どもたちが製茶に触れる機会はまだまだ少ないため、貴重な取り組み。お茶に興味を持ってくれた子供たちが未来の担い手になってくれることが望まれる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



伝統の宇治茶技法にチャレンジした子供たち

宇治茶の伝統製法「手もみ製茶」を体験するワークショップが27日、宇治茶会館で開かれた。次代を担う小中高生ら20人が参加し、伝統の手もみ作業を一日フル体験した。演劇やワークショップを通じて地域産業の活性化に取り組む「アートNPOこみねつと」が主催。小学生向け宇治茶検定「キッズ茶ムリエ検定」で、好成績を収めた児童生徒20人が参加し、宇治茶文化に親しんでもらった。作業には宇治茶製法技術保存協会(吉田利一会長)のメンバーが協力し、市の無形文化財である「手もみ製法」をみっちり指導。「粘土のようにこねてみよう」などのアドバイスを受けながら、蒸した茶葉を揉み込む「横まくり」の作業に

励んだ。玉露の淹れ方講座も開かれた。今回参加した児童生徒たちは、来月20日(日)に中宇治BAS Eで呈茶のおもてなしイベントを開催する予定だという。

評価対象年度

令和5年度

報道等タイトル

年月日

掲載紙等

JR宇治駅前に「宇文字園」跡

令和5年7月28日

洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「宇治七茗園」の石碑が復活したことにより、往時をしのぶことができるようになった。宇治茶の歴史を語る上で、欠かすことのできない存在だけに大切にしていきたいものである。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

宇治七茗園の石碑復活事業
JR宇治駅前に「宇文字園」跡
 宇治市文化財愛護協が製作 貸与された市が設置

室町幕府3代将軍・足利義満が宇治の地に作ったとされ、後世に「宇治七茗園」として名を馳せた7つの茶園。一般財団法人・宇治市文化財愛護協会(吉水利明会長)は行方知れずの『宇文字園跡』の石碑、解説版を製作し、市に貸与した。宇治七茗園は、和歌にも「森、祝井、宇文字、川下、奥の山、朝日」に続く琵琶と「こそ知れ」と詠まれた名園だが、現存するのは奥の山園(宇治善法)のみ。昭和初期には、宇治町(当時)が各茶園の跡地に石碑を整備し、その名声を広く伝えた。しかし、JR宇治駅の南側にあった宇治警察署の前に設置されていた「宇文字園」の石碑は同署の移転に際して消失した。「祝園」の石碑も、同駅の北西付近にあったと言われているが、マンション開発に伴って所在不明に。「森園」の石碑は近年まで宇治若森の民有地にあったが、行政の怠慢によって除却されてしまった。

心を痛めた市文化財愛護協会が石碑の再建立を決め、昨年度に「森園」が復活した。今回「宇文字園」に続き、来年度に「祝園」を制作する予定。いずれも貸与を受けた市が、公有地を中心に設置場所を決め、対応している。

宇文字園の石碑は花崗岩製の四角柱(高さ120cm、1面あたり幅約15cm)で、正面には「宇文字園跡 宇治七茗園之一」と記載。同駅南側の駐輪場前の植え込み内に設置された。

【写真】JR宇治駅南側の駐輪場前に建立された石碑



報道等タイトル		評価対象年度	令和5年度
年月日		掲載紙等	
宇治市「碾茶」で産地賞		令和5年8月26日	洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宇治市が全国茶品評会で産地賞を受賞した。昨年に引き続き快挙で、茶業の更なる発展につながるだろう。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



万歳三唱で産地賞受賞を祝った関係者たち

宇治市「碾茶」で産地賞

全国茶品評会 生産者称え、祝賀式

福岡県八女市において第77回全国茶品評会の審査結果が25日発表され、宇治市が昨年に続き「碾茶」で産地賞を獲得した。同日夕方、生産者を称える祝賀セレモニーが庁舎1階ホールで開かれ、茶業のさらなる発展を誓った。

碾茶には111(うち京都63)点の出品があり、1等1席に山崎省吾さん(宇治市)が輝いたほか、上位6人は宇治と久御山の生産者で独占した。

玉露では出品117(うち京都33)点のうち、山下新貴さん(京田辺市)が3位に入賞した。なお、かぶせ茶の部と普通煎茶の部では、本紙エリアから1等入賞はなかった。

祝賀式では、宇治市茶生産組合の藤井武雄組合長が挨拶した後、

松村淳子市長が「昨年に引き続き(品評会)の産地賞を関西・全国でW受賞することになりこの上ない喜び。市も生産者の皆さんと共に取り組んでいきたい」と祝辞を述べた。

茶種別の特別賞(1等入賞者)は次の通り(敬称略、本紙エリア関係のみ)。

【特別賞受賞者】
 《碾茶》①農林水産大臣賞(山崎省吾(宇治市)) ②農林水産省農産局長賞(宇治川碾茶組合・山崎省吾(同)) ③農林水産省農産局長賞(辻航己(同)) ④日本茶業中央会長賞(小山元也(同)) ⑤全国茶生産団体連合会長賞(佐山茶生産組合・阪田峻也(久御山町)) ⑥全国茶商工業協同組合連合会理事長賞(山崎一平(宇治市))
 《玉露》③農林水産省農産局長賞(山下新貴(京田辺市))
 【産地賞】
 《碾茶》①宇治市 ②久御山町、八女市
 《かぶせ茶》①舞鶴市 ②綾部市 ③八女市 福知山市
 《玉露》①八女市 ②京田辺市 ③曾於市(鹿儿岛県)
 【普通煎茶】①川根本

評価対象年度

令和5年度

報道等タイトル

年月日

掲載紙等

25年ぶり1月に来館1万人 早くも大河ドラマ効果

令和6年2月17日

洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

NHK大河ドラマ『光る君へ』の影響もあってか、源氏物語ミュージアムの来館者数が好調である。この勢いで宇治が源氏物語のまちであることを広く知ってもらい、今後の観光にもつなげていきたいところである。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

宇治市源氏物語ミュージアム

25年ぶり1月に来館1万人

早くも大河ドラマ効果

源氏物語の作者・紫式部の生涯を描くNHK大河ドラマ『光る君へ』の放送開始から1カ月余りが経過した。宇治市源氏物語ミュージアム(家塚智子館長)では先月、1万人余り(有料ゾーン)が来館し、1月としては25年ぶりの大台超え。早くも大河ドラマ効果が出ており、ツアーが本格化する今後に期待している。

紫式部の生きた平安時代中期は、戦が少なく、京都文化が花開いたとされている。大河ドラマで、これまで扱われることの少なかつた時代だけに、放送開始後は「紫式部」「源氏物語」が話題に。世界で唯一「源氏物語」を冠する市源氏物語ミュージアムでは早くも大河ドラマ効果を感じている。

1月は有料ゾーンに1万人余りが来館した。98年10月にオープンし、その直後の99年1月に約1万1000人が来館したことはあるが、閑散期の冬場。25年ぶりの1月1万人超えとなり、新型コロナウイルス流行前の2019年1月比では約1・8倍となった。同ミュージアムでは源氏物語のことを長年、取り上げてきた自負があり、年間4回の企画展、1回の特別企画展を開催。特別企画展は例年、秋に開催することが多いが、今年度は放送直前の昨年11月から『このわたりに薫る君やさぶら』を開き、来年度は7、8月に『源氏物語』が呼んでいる「拡がる古典の世界」を開催することにしている。

家塚館長は「1月以降『大河ドラマ』を見て来た」という声を聞くようになった。外国人観光客も多いが、放送開始以降は日本人が増えている。今後、団体が客が見込まれるため、期待している」と話している。

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度 令和5年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 宇治市歴史的風致維持向上協議会

会議等の開催日時: 令和6年5月28日 14:00～16:00

(コメントの概要)